

水稲直播栽培特報(第2号)

平成22年5月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

気温が高くなると雑草の発生が早くなります。除草剤は遅れずに散布しましょう！
また、溝掘りは、6月上旬までに確実に実施し、中干しの効果を高めましょう。

当面の水管理

① 5月下旬～6月初旬 <浅水管理>

- 生育を促進し、早期に分げつを発生させるため、朝夕かん水・日中止め水で3cm前後の浅水管理を行いましょう。
※ 表土が膜状に浮き上がる場合は、暖かい日に2日程度落水し、落ち着かせましょう。

② 6月上旬 <溝掘り>

- 溝掘りは6月上旬までに実施しましょう。10～15条に1本の割合で溝を掘り、水尻としっかり連結しましょう。
既に、溝掘りを行ったところは、手直しをしましょう。 ※ 特に、落水後も水の切れないほ場では、必ず設置しましょう。

③ 6月中旬 <中干し>

- 1m間の茎数が100本程度になったら、遅れずに中干しを始めましょう。
中干しは土の表面に亀裂が入る程度まで行い、出穂後の湛水管理に備え田面を固めましょう。

雑草防除

◎雑草が残っている場合は、下表を参考にしながら、草種に応じて雑草対策を徹底しましょう。

雑草の種類	使用除草剤	10a 当たり 使用量	使用時期	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	1.0 kg	ノビエ3Lまで 播種後10日～	5cm程度の深水で散布。 散布後5日間は湛水
	クリンチャーEW	1.5 kg	ノビエ4Lまで 播種後25日～	
ノビエと 広葉雑草	ザーベックスDX1キロ粒剤	1 kg	ノビエ3Lまで	イネ5葉期以降に使用 散布後5日間は湛水
	クリンチャーバスME液剤	薬量：1,000ml/ 水70～100リットル	ノビエ5Lまで	落水状態で散布。散布後3～ 4日間は入水・落水しない
広葉雑草 のみ	バサグラン液剤	薬量：500～700ml/ 水70～100リットル	播種後 35～50日	落水状態で散布。散布後3～ 4日間は入水・落水しない
	粒状水中MCP	3.5～4.0 kg	有効分げつ終止期 ～幼穂形成期前	雑草が冠水する程度の深水 で散布。散布後5日間は湛水 状態を保つ。

葉いもちの予防

◎葉いもち病の発生を防止するため、中干し後に、オリゼメート1キロ粒剤を散布しましょう。

散布時期	薬剤名及び使用安全基準	10a 当たり使用量	備 考
6月中旬	オリゼメート1キロ粒剤	1 kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、 7日間は「落水」や「掛け流し」をしない。

